

【報道関係者各位】

2018年2月8日

鉄旅オブザイヤー実行委員会



**ついに鉄道旅行のナンバーワン決定！
『鉄旅オブザイヤー2017』グランプリは、
通常は運行していない貨物線も走行！お座敷列車「宴」の旅
参加希望者が殺到した“鉄旅の玉手箱”**

この度、鉄旅オブザイヤー実行委員会は、日本国内の優れた鉄道旅行を審査・表彰する『鉄旅オブザイヤー』の結果発表及び授賞式を、2018年2月7日（水）に「鉄道博物館」にて開催致しました。第七回となる今年度、全国の旅行会社より応募された鉄道の魅力溢れる114作品の中から、鉄旅オブザイヤー実行委員会による第一次審査、外部審査員（審査委員長：芦原 伸さん）による第二次審査を経て選考されたユニークで魅力的な受賞作品を発表致しましたので、ここにご報告いたします。夢の鉄道旅行企画を募集した「一般部門」の受賞作品も発表致しました。 ※鉄旅オブザイヤーの詳細はこちら <http://www.tetsutabi-award.net/>

**■ グランプリは、クラブツーリズム “貨物線区間を走行する お座敷列車「宴」の旅”
一般部門『ベストアマチュア賞』も発表！**

過去最多114作品の中からグランプリに輝いたのは、クラブツーリズム株式会社 JR販売センター大塚雅士さんの作品『通常は運行していない貨物線も走行！お座敷列車「宴」利用 東京・神奈川・千葉の1都2県貸し切り列車でぐるり周遊・日帰りの旅』。

通常、貨物専用線として運用されている区間に乗り入れ、絶対に見ることが出来ない車窓を堪能。「りんかい線」からの「京葉線」、「横須賀線」からの「根岸線」といった、今では運行のない路線も満喫。車両にもこだわり、窓ガラスの大きいお座敷列車「宴」を使用して、通常20分で行ける「池袋一品川」を7時間かけて走る夢の旅。企画者の大塚さんは「いつか貨物線区間に列車を走らせてみたい」と思い、やっとの思いで実現できたコースで受賞できて大変嬉しく思います。8日程の設定で、1,130名のお客様に参加いただきました。今後もJR6社様にご協力いただきながら魅力あるツアーを造成していきたいと思っております。」とコメント。



審査員からは「キャンセル待ちが600人、首都圏の運行だけで1,300万円を売り上げたのはホームラン級の成功。これぞプロの仕事だ！とうならされました。」（共同通信社編集局経済部次長 大塚圭一郎さん）「非日常が重なって伝説になり、あの伝説の旅、行ってきたんだぜ！と自慢できる作品です」（株式会社ホリプロ 鉄道好きマネージャー 南田裕介さん）と、企画内容も実績も、非常に高い評価が集まりました。



一般部門では、鉄道旅行ファンから「夢の鉄道旅行企画」を募集。「ベストアマチュア賞」は、来年度のデスティネーションキャンペーン開催地である山陰エリアを対象とした吉田直哉さんの作品『じゃんけんにも負けたら強制下車★山陰本線で目指せ！途中下車の達人』が受賞しました。

全体総括として「商品づくりのアイデアや列車特性を活かした作品が増え、メディアが追いつかない程充実した内容となっています。次年度も、もっともっと挑戦をしていただき、審査員が審査に困るほどの作品を期待しています。」と芦原伸審査委員長のお言葉で締めくくられました。

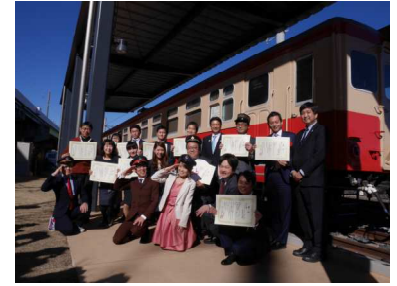
■ インスタ映えを狙え！鉄道好き著名人が、イチオシの“鉄旅インスタ”を披露！

授賞式後は、鉄道好きで知られるダーリンハニーの吉川正洋さん、女子鉄アナウンサーの久野知美さん、ホリプロマネージャーの南田裕介さんが、イチオシの“鉄旅インスタ”を披露！「色んな角度から鉄道写真を切り取る」「駅名看板やかわいい系のフォントを入れる」「カラフルは最強」等、鉄旅インスタのポイントを久野知美さんが解説。吉川正洋さんは、日本一長い駅名看板や、びっくりする程狭い立ち食い蕎麦屋さん等、思わずクスッとしてしまう写真を紹介。南田裕介さんは、黒い列車やコンテナの写真がズバリ。「全体的に黒い！」「全然インスタ映えしない！」と一同爆笑。終始会場は笑いに包まれました。





「鉄旅オブザイヤー2017」受賞作品



受賞者の記念撮影

●旅行会社部門

👑 グランプリ (1作品)

**通常は運行していない貨物線も走行！
お座敷列車「宴」利用 東京・神奈川・千葉の1都2県貸し切り列車でぐるり周遊・日帰りの旅**

クラブツーリズム株式会社 JR販売センター 大塚 雅士さん

👑 準グランプリ (1作品)

出発進行！読売旅行貸切 銚子電鉄七夕列車と 銚子・夏のおもてなし

株式会社読売旅行 首都圏バス旅行課 係長 西島 康敬さん
株式会社読売旅行 首都圏営業部 部次長 土屋重 治さん
銚子電気鉄道株式会社 取締役 黒澤 崇さん

👑 審査員特別賞 (1作品)

**赤い風船45周年 JR東日本×JR西日本×日本旅行共同企画
団体貸切！北陸新幹線で行くJapanese Beauty Hokuriku～日本の美は北陸にあり～**

株式会社日本旅行 赤い風船東日本事業部 マネージャー 高橋 賢さん
株式会社日本旅行 赤い風船東日本事業部 花村 彩さん

👑 DC賞 (1作品)

**中国鉄道コンチェルト 第5楽章 山口DC特別企画
～“篠目の奇跡”の目撃者となる。懐かしき客レでめぐる西日本セレナーデ～3日間**

クラブツーリズム株式会社 第3国内旅行センター 増成 宜迪さん

👑 ルーキー賞 (1作品)

**サンライズ出雲で行く 懐かしの京王線車両を訪ねる
奥出雲路の旅 一畑電車・絶景おろち号・廃線間近 三江線と世界遺産 石見銀山 4日間**

京王観光株式会社 仕入部 サブマネージャー 鈴木 伸二さん

●一般部門

👑 ベストアマチュア賞 (1作品)

じゃんけんに負けたら強制下車★山陰本線でめざせ！途中下車の達人

吉田 直哉さん

👑 準アマチュア賞 (2作品)

ムスリム旅行者も安心、鉄道で行く日光・鬼怒川の旅

JTBトラベル&ホテルカレッジ 佐藤 仁美さん

【選べる出発・帰着】インスタ映えスポットも満載！良縁祈願・出雲大社と人気列車でめぐる山陰の旅

入江 千恵子さん

■「鉄旅 OF THE YEAR」とは



● 表彰対象

【旅行会社部門】

2016年11月～2017年10月までに催行された日本国内を目的地とする募集型企画旅行および受注型企画旅行。

※鉄道旅行の魅力がツアーの中心にあり、企画性、オリジナリティが高いものとする。

【一般部門】

2018年度デスティネーションキャンペーン開催地（栃木県、山陰[鳥取県・島根県]、愛知県、京都市）の何れかを対象エリアとした鉄道旅行ツアー企画、アイデア。

● 表彰

【旅行会社部門】

グランプリ1作品、準グランプリ1作品、DC賞1作品、審査員特別賞1作品、ルーキー賞1作品 計5作品

※ルーキー賞とは、過去受賞したことがない（今回も受賞されていない）旅行会社による作品で、コンセプト・内容等について審査員が評価したもの。

【一般部門】

ベストアマチュア賞1作品、準アマチュア賞2作品

● 審査

・鉄旅オブザイヤー実行委員会

・外部審査員 ※敬称略・五十音順

委員長	芦原 伸	「旅と鉄道」統括編集長、日本旅行作家協会専務理事
委員	井門 隆夫	(株) 井門観光研究所、高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授
委員	五十嵐 匡一	月刊「旅の手帖」編集長
委員	榎本 聖之	鉄道模型バー銀座パノラマ渋谷店オーナー
委員	オオゼキタク	シンガーソングライター
委員	大塚 圭一郎	共同通信社編集局経済部次長、鉄道コラム「夕留鉄道倶楽部」執筆者
委員	栗原 景	フォトライター
委員	崎本 武志	江戸川大学社会学部現代社会学科 准教授
委員	杉山 淳一	フリーライター
委員	鉄旅ガールズ	鉄旅好き女子
委員	南田 裕介	鉄道好きマネージャー（株式会社ホリプロ）
委員	豊岡 真澄	元祖鉄道アイドル、ママ鉄代表
委員	矢野 直美	旅をしながら「撮って書く」フォトライター

● 組織

■主催：鉄旅オブザイヤー実行委員会（委員長 高橋 広行）

■委員：鉄道旅客協会

■後援：北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、

西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、
一般社団法人日本民営鉄道協会、公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、
一般社団法人全国旅行業協会

■協力：交通新聞社、旅行メディア各社